

チョウセン
アカシジミ

珍チョウの生態学ぶ

普代川沿いで成虫観察会

村指定の天然記念物「チョウセンアカシジミ」の成虫観察会は七月十日、上区の普代川沿いで開かれ、約二十人が参加し、希少なチョウの生態を観察しました。

参加者はチョウセンアカシジミの会、尾形洋一代表（宮古市）の指導でじっくりと観察。

者同士の交流も深めました。七月十六日には、久慈教育事務所など主催の文化財保護調査委員等研修会が同生息地で開かれ、チョウセンアカシジミの観察を行いました。

久慈広域六市町村の同委員と普代小の三年生ら約五十人が参加。チョウセンアカシジミの会の尾形洋一代表の案内で調査しました。

59年に村の天然記念物

チョウセンアカシジミは、全国でも新潟県と山形県、岩手県の三県にしか生息していません。県内でも久慈市から宮古市までの沿岸と雫石町の九市町村にしか生息が確認されていない珍しいチョウで、それぞれの市町村で天然記念物に指定し、保護活動をしていきます。

村でも、昭和五十九年に天然記念物に指定。平成十二年から村教委では産卵数調査や成虫観察会を行い、保護活動を進めています。



チョウを見つけると「お～、いたぞ」とうれしそうに指差していました

観察。木の葉に羽を休めているオレンジ色のチョウを見つけたら、「いた、いた」と歓声を上げ、観察していました。観察会では、卵の大きさや成虫の大きさ、日本での生息地など、チョウセンアカシジミに関するクイズなどを楽しみながら学習し、参加

2年間ありがとう

村外国語指導助手 ジェニファーさん イギリスに帰国



役場内を回りお別れのあいさつをするジェニファー・フレンチさん

村外国語指導助手のジェニファー・フレンチさん（三〇）が、二年間の任期を終え、七月二十八日イギリスへ帰国しました。

平成十四年八月に村で六人目の英語の指導助手として着任。小中学校などで英語を教えていました。

ジェニファーさんは「普代の皆さん、私を歓迎してください。ありがとうございます。二年間皆さんにお世話になり、感謝しています。冬に私の家の玄関に雪が積もったとき、見知らぬ方が雪カキをしてくださったこと。そして、皆さんのたぐさんの温かい笑顔は私は忘れません。ありがとうございます。ありがとうございました」と感謝していました。

子どもたちや村民の皆さんのために、二年間ありがとうございました。